



VOL.43

「桂川っ子」の文字は、
 桂川中学校美術部員が
 デザインしたものです。

「油断大敵」

桂川町教育委員会

教育長 穂坂 和義

スポーツの秋です。先月は秋晴れの中、桂川・桂川東の両小学校、桂川幼稚園、土師・吉隈の両保育所の運動会が行われました。それぞれの特色や持ち味が発揮された実に感動的で立派な運動会でした。春に行われた桂川中学校や善来寺保育園もそうでしたが、はつらつとして、学び・育ちの場としての学校（園・所）が確かにそこにありました。

現在、町内の学校・子どもたちは、とても落ち着いています。数年前の中学校の荒れが信じられないほどです。日ごろから町内巡回指導をしてくださっている方が「何も問題がなくて、張り合いがないくらいだ。」と話されていました。誠にすばらしいことです。ここに至るまでの関係者の皆様方のご尽力にあらためて感謝申し上げます。

ところで、学校の荒れは数年ごとの波があるといわれています

が、その原因の一つに、安心して気が緩み、足元が見えなくなっていることがあります。まさに油断は大敵、荒れの兆候を見逃さず適切に対応していくことが肝要です。

ちなみに、最近役場周辺にごみのポイ捨てが増えてきたようで気になっていきます。次に学校が荒れていく過程を紹介しますので、皆さんも注意して見ていただけたらと思います。

【第1段階】校舎内に落書きやごみが目立ち、無断欠席者が出る。

【第2段階】たばこの吸い殻やガムの嘔みかすなどが散乱し、注意無視や反抗的な態度が増える。

【第3段階】授業をさぼる。器物破損（電気のスイッチ、トイレのドア、窓ガラス等）が発生する。

【第4段階】暴力ぎたや喫煙が日常化し、注意されると暴れる。

【第5段階】授業妨害が増え、注意すると対教師暴力、暴れて物を破壊。学校機能がマヒする。

（平成10年、参議院予算委員会時の証言「これが荒れた学校だ」より）

「子どもも花も野菜も」

「元気で生き生き！」

桂川幼稚園園長 長野陽一

桂川幼稚園で重点的に取り組んでいる「花や野菜の栽培活動」と「運動遊びの充実」についての様子を報告します。

花や野菜の栽培活動では、種を蒔き、苗を育て、プランターや花壇、畑などに植え付けるようにしています。今年もキュウリ、トマト、トウモロコシ、枝豆などの夏野菜がたくさん収穫できました。とれたての新鮮な野菜は、とてもおいしかったです。

一学期の植木鉢でも一人一鉢の取組では、年小組はミニトマトを、年中・年長組はミニトマトと朝顔を育てました。家庭に持ち帰り育てた朝顔は9月末まで花を咲かせ続けたそうです。

二期期には、大根や白菜、ほうれん草など、秋野菜、冬野菜の植え付けも終わり順調に育っています。この冬予定している豚汁パーティーで入れる野菜は、幼稚園で育てた野菜ですべてまかなえそうです。大きく育ったサツマイモ、落花生、黒豆の収穫を子どもたちは楽しみにしています。



▲ 今年の桂川幼稚園の運動会

運動遊びの充実では、鉄棒、跳び箱、マット、平均台を使つての遊びや、音楽に合わせて体を動かすリズム遊び、竹馬乗りなどに取り組んでいます。運動会では、これまで練習してきた竹馬乗りなど、その成果を発表しました。

今後は、リズム遊びや運動遊びが充実するように、毎月継続して講師を招き、さらに取組を進めていきます。また、子どもたちが友だちと一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきたいと思ひます。